

証券コード：4228

第75期 中間報告書  
2018年4月1日～2018年9月30日

株主のみなさまへ

# トップメッセージ

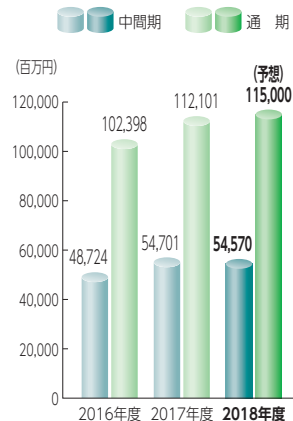
## 中期経営計画

### 「Make Innovations 60」の

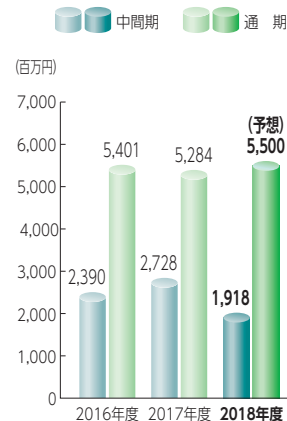
当中間期の世界経済は、欧米を中心に総じて景気回復傾向が続いているものの、世界的な貿易摩擦の強まりに伴う輸出環境への懸念などから先行き不透明感が強まっています。日本経済は、個人消費の持ち直しなど緩やかな回復基調が持続していますが、西日本豪雨をはじめとした相次ぐ自然災害の影響がありました。日本の発泡プラスチック業界におきましては、原油価格が当年度に入り上昇を続け、原燃料価格や物流コストが値上がりする一方で、川下に対しては価格調整に時間を要する状況となっており、収益面で厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは中期経営計画「Make Innovations 60」（2016年度～2018年度）の

#### 売上高



#### 営業利益



代表取締役社長

柏原正人

## 最終年度を迎えて

最終年度を迎え、「事業ポートフォリオ変革」と「収益構造革新」を進めるべく、施策を着実に推進しております。当中間期は、自動車、医療・健康関連を中心に工業分野の伸長は続いています。家電・IT関連では前年同期に好調であった台湾での需要が一巡となりました。一方、生活分野では自然災害により主に農水産関連などの収益に影響があったことに加え、原燃料価格の上昇に対し、製品価格の改定が遅れ、収益が悪化しました。その結果、連結売上高は545億7千万円、連結営業利益は19億1千8百万円、連結経常利益は19億4千7百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は13億1千5百万円となりました。なお、自然災害の影響として、特別損失3千1百万円を

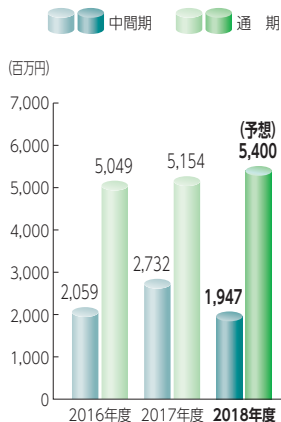
計上しております。

当中間期の配当につきましては、1株につき13円とさせていただきます。中間配当金の支払開始日は12月5日となります。なお、期末の配当につきましては、17円を予定しております。

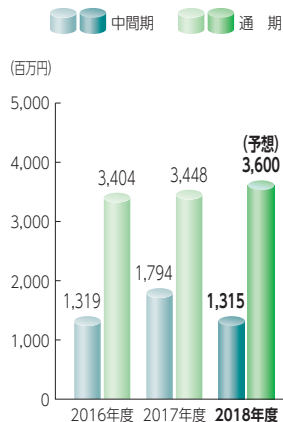
今期の見通しにつきましては、連結売上高1,150億円、連結営業利益55億円、連結経常利益54億円、親会社株主に帰属する当期純利益36億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

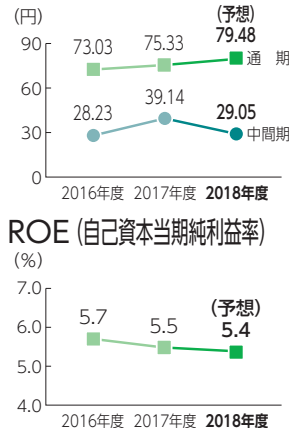
### 経常利益



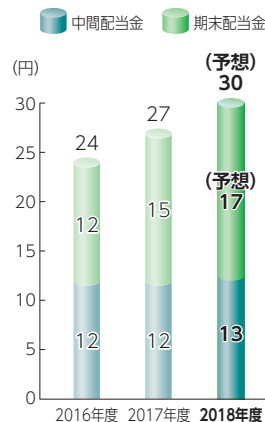
### 親会社株主に帰属する当期純利益



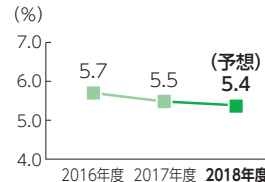
### 1株当たり当期純利益



### 配当実績



### ROE (自己資本当期純利益率)



(注) 2016年10月に2株を1株とする株式併合を実施しており、株式併合前の1株当たり当期純利益・配当は遡及修正しております。

# 2018年度中間期の事業別概況 (連結)



## 生活分野 (ヒューマンライフ)

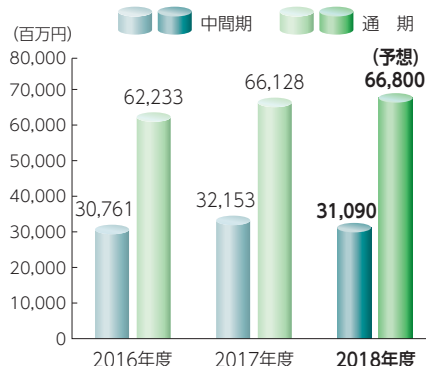
売上高 ..... 31,090百万円  
 売上構成比 ..... 57.0%

食品容器関連は電子レンジ加熱に対応した耐熱容器などの需要が引き続き好調となりましたが、7月以降相次ぐ自然災害の影響を受け、農水産関連の需要は低迷し、建材・土木関連の需要も低調に推移しました。また、関連仕入商品の販売減もあり前年同期比減収要因となりました。主力製品では、「エスレンシート」は売上数量・金額とも前年同期を上回りましたが、「エスレンビーズ」は売上数量が前年同期を下回ったものの、金額は前年同期を上回りました。



機内食容器

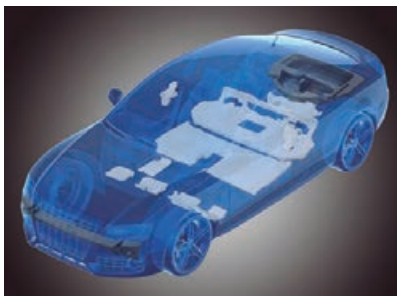
### 売上高



## 工業分野 (インダストリー)

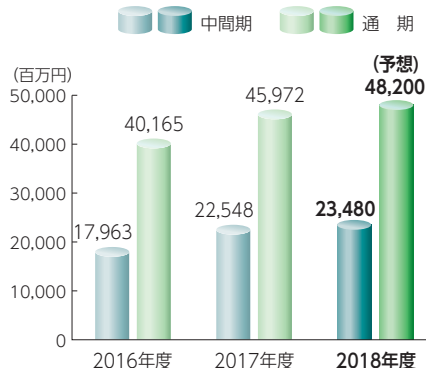
売上高 ..... 23,480百万円  
 売上構成比 ..... 43.0%

家電・IT関連では、「ピオセラン」などを用いた液晶パネル搬送資材用途において、前年同期に好調であった台湾での需要が一巡となりました。「テクポリマー」は、一部数量的には在庫調整の影響を受けましたが、光拡散用途や塗料用途において堅調に推移しました。自動車関連では、「ピオセラン」などを用いた部材用途において、グローバルに採用部位が拡大しました。医療・健康関連では、「テクノゲル (ST-gel)」が、低周波治療器用パッドや化粧品用パック材などで好調に推移しました。



ピオセラン (自動車部材用途)

### 売上高



## タイで2拠点目となる成形工場で生産開始

現在、Sekisui Plastics (Thailand) では、バンコク北部のサラブリ県に成形拠点を設け、主に梱包資材や部材を自動車部品メーカーに供給していますが、世界の自動車市場はアジアを中心に継続的な安定成長が見込まれ、当社の素材に対する要望はますます高まっています。

そこで、バンコク南部のラヨン県に2拠点目となる成形工場を新設し、「ピオセラン」を始めとする発泡プラスチック成形品の生産を開始しました。

今後は、自動車市場だけに留まらず、家電・IT分野についても積極的に拡販を進めていきます。



新工場外観



竣工式

## 「アクアロード」が道の駅「いちかわ」で採用

2018年4月に開業した道の駅「いちかわ」(千葉県市川市)は駐車スペースが広大で、地域の防災拠点として活用するため大型車両の長時間荷重にも耐える雨水貯留施設が必要でした。そのため、大型車両が通行可能なプラスチック製雨水滞水材「アクアロード」による雨水貯留槽を提案し、採用されました。

今後も、要望が増す道路冠水対策・雨水処理分野で、「アクアロード」を積極的に展開・拡販していきます。



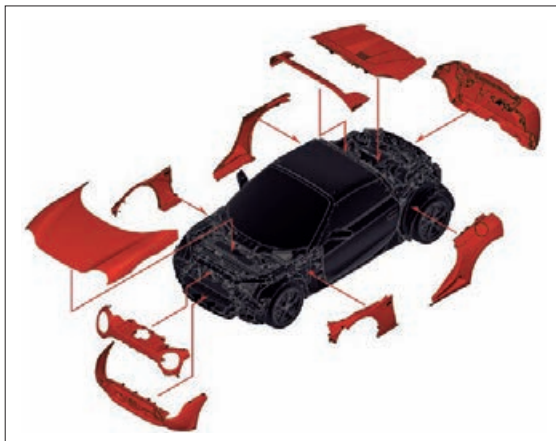
道の駅「いちかわ」全景



アクアロード埋設工事現場

# トピックス

## ホンダアクセスの「S660 Neo Classic KIT」にFRP成形品が採用



外装部品展開図

当社のFRP成形品が、株式会社ホンダアクセスが開発した「S660 Neo Classic KIT」の外装部品に採用されました。このキットは「S660」をベースに組み替えて架装することでクラシカルにカスタマイズでき、今回採用に至ったのは当社がこれまで培ってきた豊富なFRP成形技術や生産実績によるものと考えております。

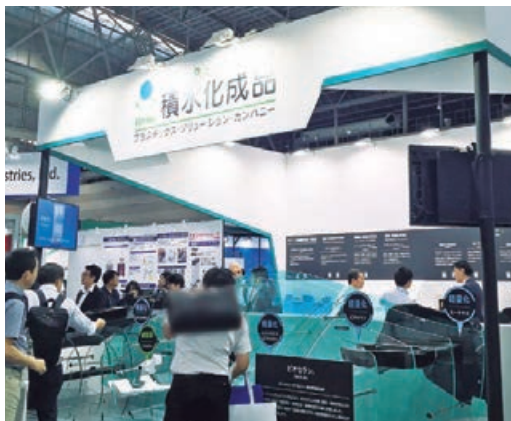
これからも、自動車部材のさまざまな分野で多様化するニーズ

にお応えするため、軽量で耐久性に優れたFRPや「ST-LAYER」の特長を活かした提案を行っていきます。



S660 Neo Classic

## 「名古屋クルマの軽量化技術展」で耐熱・難燃発泡体などを展示



当社ブース

2018年9月に開催された「第1回名古屋クルマの軽量化技術展」に出展しました。

この技術展はクルマの軽量化に特化した専門展であり、当社ブースでは、「ピオセラン」や「ST-LAYER」をアクリル製の自動車に組み込み展示し、軽量化に寄与する製品の実例として紹介しました。



耐熱・難燃発泡体

また、新たに開発を発表した耐熱・難燃発泡体も展示し、今後さまざまな用途に活用が期待されると来場者の好評を博しました。この発泡体の優れた耐熱性、難燃性、軽量性、断熱性を活かし、自動車だけでなく、航空機や船舶などの構造部材としての展開を推進していきます。

## 「全日本学生フォーミュラ大会」に協賛

2018年9月にエコパ（静岡県小笠山総合運動公園）で開催された「第16回全日本学生フォーミュラ大会」に協賛しました。

本大会は、主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくり力を競い、自動車技術の発展に資する人材を育成することを目的にしたものであり、当社は協賛するとともに自動車部材も提供しました。

大会中は当社展示ブースが設けられ、多くの学生の皆さんともものづくりについて話をする機会が得られました。

今後も発泡技術や成形技術を基に、将来の自動車を支える技術の進歩に貢献していきます。



部材提供のフォーミュラカー



## グリーンウェイブ活動「グリーンウェイブ大使を招いて植樹イベント」

国連生物多様性の10年日本委員会、環境省などが推奨するグリーンウェイブ活動の一環として、2018年6月に茨城県古河市の里山で植樹イベントを開催しました。

「グリーンウェイブ オフィシャル・パートナー」就任にちなんで、グリーンウェイブ大使の2018ミス日本みどりの女神を招いて、盛大に催すことができました。当日は、グリーンウェイブ募金への呼びかけ、トラクターによる自然観察会など、子供から大人まで生物多様性について考える良い機会になりました。



植樹活動



全員での記念撮影

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (2018年9月30日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	48,402	49,680
現金及び預金	5,533	5,123
受取手形及び売掛金	28,113	30,367
たな卸資産	10,835	10,432
その他	3,919	3,756
固定資産	84,096	81,468
有形固定資産	56,273	53,849
無形固定資産	1,088	1,037
投資その他の資産	26,734	26,580
資産合計	132,499	131,148

期別 科目	当中間期 (2018年9月30日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(負債・純資産の部)		
流動負債	44,328	47,470
支払手形及び買掛金	17,153	17,418
その他	27,175	30,052
固定負債	21,649	17,531
負債合計	65,977	65,002
株主資本	52,976	52,352
その他の包括利益累計額	12,860	13,061
非支配株主持分	684	731
純資産合計	66,521	66,145
負債・純資産合計	132,499	131,148

(注) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を当中間期の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 中間連結損益計算書 (単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	前中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	54,570	54,701
売上原価	41,946	41,255
販売費及び一般管理費	10,705	10,717
営業利益	1,918	2,728
営業外収益	257	225
営業外費用	228	221
経常利益	1,947	2,732
特別利益	79	2
特別損失	31	9
税金等調整前中間純利益	1,995	2,725
法人税等	678	929
中間純利益	1,316	1,796
非支配株主に帰属する中間純利益	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	1,315	1,794

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	前中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,332	1,070
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,099	△ 2,156
財務活動による キャッシュ・フロー	2,149	△ 286
現金及び現金同等物に 係る換算差額	26	50
現金及び現金同等物の 増減額	409	△ 1,323
現金及び現金同等物の 期首残高	5,117	6,266
現金及び現金同等物の 中間期末残高	5,527	4,943



# 株式の状況 (2018年9月30日現在)

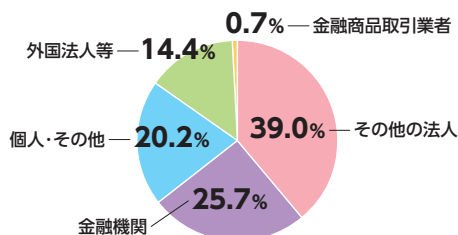
■発行可能株式総数	124,751,000株
■発行済株式の総数	46,988,109株
■株主数	4,981名

## 大株主

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	9,855	21.74
第一生命保険株式会社	3,031	6.68
積水化成成品従業員持株会	1,691	3.73
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,580	3.48
積水樹脂株式会社	1,419	3.13
大同生命保険株式会社	1,418	3.12
株式会社エフピコ	1,348	2.97
株式会社三菱UFJ銀行	1,327	2.92
旭化成株式会社	1,250	2.75
デンカ株式会社	1,250	2.75

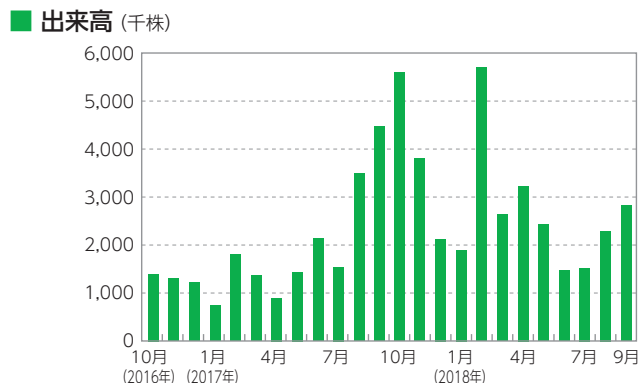
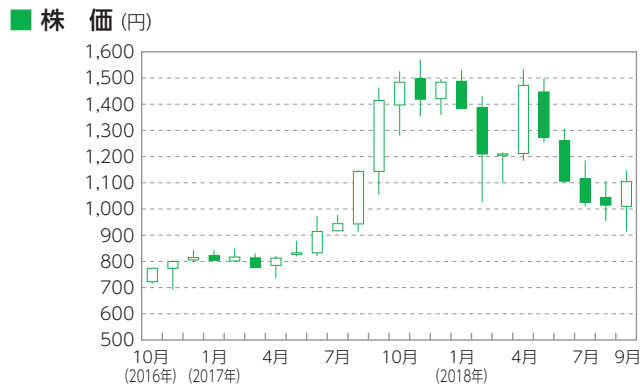
(注) 当社は自己株式を1,668千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 所有者別分布状況 (所有比率)

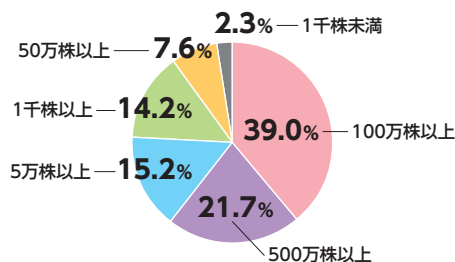


(注) 所有比率は、自己株式(1,668千株)を控除して計算しております。

## 株価・出来高の推移 (東京証券取引所市場第1部)



## 所有株数別分布状況 (所有比率)



# 会社概要

## 会社の概要

(2018年9月30日現在)

商号 積水化成工業株式会社  
 (英文商号) (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)

本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号

設立年月日 1959年10月1日

資本金 16,533,476,176円

グループ従業員数 2,217名

営業品目 <セグメント別>

生活分野	市場・用途	農水産資材、食品包装材、 流通資材、建築資材、土木資材
	主な製品・商品	エスレンビーズ、エスレンシート、 エスレンウッド、インターフォーム、 これら成形加工品 ESダンマット、エスレンブロックなど
工業分野	市場・用途	自動車部材、車輛部品梱包材、 産業部材、産業包装材、 電子部品材料、医療・健康用材料
	主な製品・商品	ピオセラン、ライトロン、 ネオマイクロレン、セルペット、 テクポリマー、テクノゲル、 テクヒーター、エラストイル、 フォーマック、ST-LAYER、 これら成形加工品など

## 取締役および監査役 (2018年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役社長 柏原正人  
 取締役 池垣徹哉  
 取締役 廣田徹治  
 取締役 辻脇伸幸  
 取締役 塩田哲也  
 取締役 佐々木勝巳  
 社外取締役 網本勝彌  
 社外取締役 馬場宏之  
 社外取締役 窪田森雄

### 監査役

常勤監査役 守屋雅之  
 常勤監査役 宮下幸一  
 社外監査役 濱部祐一  
 社外監査役 長濱守信三  
 社外監査役 高坂敬三

## 事業所所在地

(2018年9月30日現在)

本社 〒530-8565  
 大阪市北区西天満二丁目4番4号  
 (堂島関電ビル)  
 TEL 06 (6365) 3014

東京本部 〒163-0727  
 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号  
 (小田急第一生命ビル)  
 TEL 03 (3347) 9615

総合研究所 〒632-8505  
 奈良県天理市森本町670番地  
 TEL 0743 (65) 0504

ホームページ  
 アドレス <http://www.sekisuiplastics.co.jp>

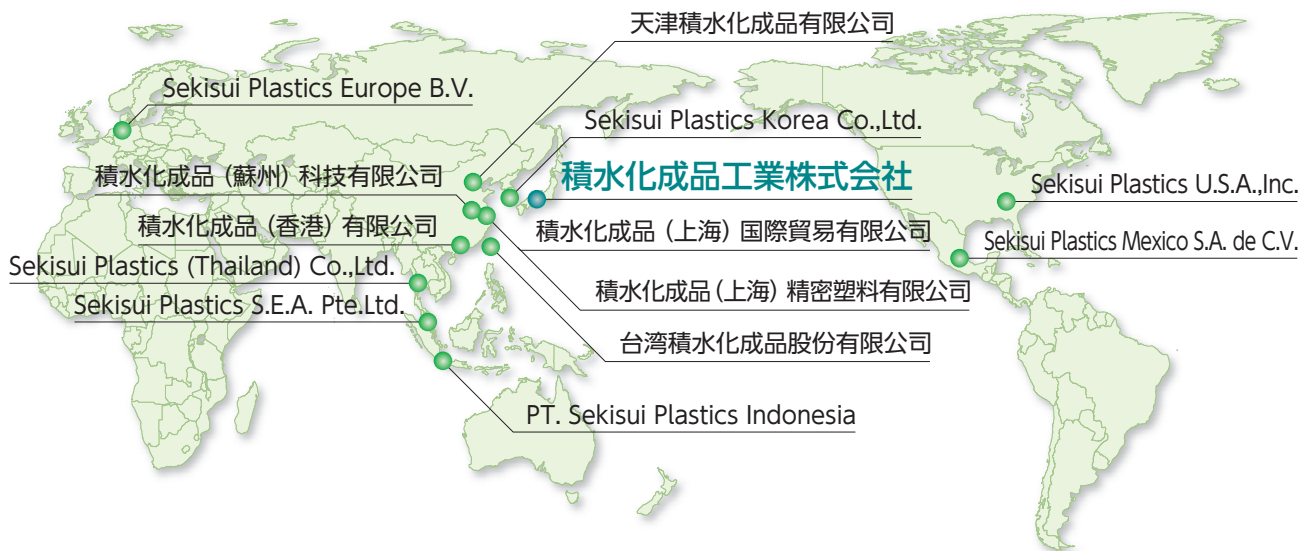


SEKISUI PLASTICS CO., LTD.

# 积水化成製品グループのネットワーク (33社)

(2018年9月30日現在)

## ● グループ会社 (グローバル)



## ● グループ会社 (日本)

株式会社 積水 技研  
 株式会社 積水化成製品 北海道  
 株式会社 積水化成製品 東北  
 株式会社 積水化成製品 東部  
 株式会社 積水化成製品 関東  
 株式会社 積水化成製品 群馬  
 株式会社 積水化成製品 埼玉

株式会社 積水化成製品 ヤマキユウ  
 株式会社 積水化成製品 中部  
 株式会社 積水化成製品 近江  
 株式会社 積水化成製品 滋賀  
 株式会社 積水化成製品 堺  
 株式会社 積水化成製品 天理  
 株式会社 積水化成製品 山口

株式会社 積水化成製品 四国  
 株式会社 積水化成製品 九州  
 株式会社 積水化成製品 沖縄  
 セキスイウレタン加工株式会社  
 湘南積水工業株式会社

※本報告書の記載金額および株式数につきましては、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 経営理念

われわれ積水化成品グループは、  
人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し  
“新しい幸せ”を目指して  
常にイノベーションをし続けます

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 公告の内容は、当社ホームページにおいてご覧ください。 <a href="http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/">http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
※株主様のお問合せ先	積水化成品工業株式会社 管理本部 法務部 TEL 06-6365-3014



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に  
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが  
えにくいデザインの文字を採用しています。